青少年委員だより　第30号

アキシマン

編集　昭島市青少年委員の会　広報部会　令和６年 3月発行
発行　昭島市子ども育成課　昭島市つつじが丘3-3-15　042 - 544 - 4313

我ら青少年の活動を応援します

令和5年青少年フェスティバルにて

ご　挨　拶

子ども家庭部長　滝瀬　泉之

委員の皆様方には、日頃より地域の青少年健全育成活動、学校や他関係団体との連絡調整などご尽力をいただき誠にありがとうございます。

コロナ禍により学校やイベントなど社会の様々な動きが停滞し、その間、対人関係が疎遠となったことは青少年にとってその成長期における大変残念な出来事でした。

令和５年度は小学生国内交流や青少年フェスティバルをはじめ、多くのイベント等を４年ぶりにリアルで開催することができました。

その際の参加者をはじめ、スタッフ、それらを支える地域の協力者、関係者皆様の活々とした姿・笑顔には大いに感動をいたしました。実体験の中で輝く皆様から、私自身も活力をいただいたところです。

令和６年度は市制施行７０周年の年です。大いに盛り上がっていきましょう。

令和５年度青少年フェスティバル開催！！

～令和５年１２月３日（日）～

４年ぶりに開催の青少年フェスティバル。新たな“青フェス”の“祭（さい）始動”にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

【本部企画】　全体の運営や広報を担当しました

今年のテーマは「**祭（さい）始動**」
実行委員長の春日ひなのさん、
副実行委員長の戸田千尋さん、水村もねさん
会議の運営・ポスター作り、当日は開会式やフィナーレ、スタンプラリー、本部テントでの対応に飛び回りました。

開会式
挨拶：春日実行委員長
司会：戸田副実行委員長

水村副実行委員長作

【小ホール企画】

今年の小ホール企画のテーマは『**Re：rock**』！　このテーマにはいくつかのキーワードが隠されています。分かりますか？

4年ぶりとなる今回は都立青梅総合高等学校から9バンド市立清泉中学校から2バンド、啓明学園高等学校から1バンド市内から2バンドの計14バンドによるライブが繰り広げられました。会場づくり、リハーサルほか他企画への協力など各バンドの皆さんが積極的にかかわってくれた姿が印象的でした。小ホール企画の実行委員さんからのコメントを紹介します。

小ホール企画代表 石上さん

活動が進む中で自分の考えが形になっていくのはとても新鮮で充実した体験でした！
沢山の方と関わったり、サポートして頂いたり、人と人との繋がりを感じられるとても貴重な経験になりました。普段中々見ることのできない青少年のいきいきしたパフォーマンスに力をもらえる企画です！

小ホール企画実行委員 小堀さん

地元である昭島市の企画にいち高校生として参加出来たこと。そして青少年の活躍出来る場所作りに関われたことは、とても貴重な体験になりました。

青少年が個々の個性を一生懸命表現し、力が溢れているパフォーマンスはオーディエンスを魅了させてくれます。そんな企画です！

最後に、小ホール企画に舞い降りたエンジェル石上さん、SNSを駆使して昭和のおじさんたちを引っ張ってくれた小堀君、毎回ボランティアで実行委員を指導いただいている河村さんとそのお仲間たち、実行委員以上に熱いエナジーを注いでくれた事務局のEさん、この場を借りて御礼申し上げます。この感動をまた次回に！

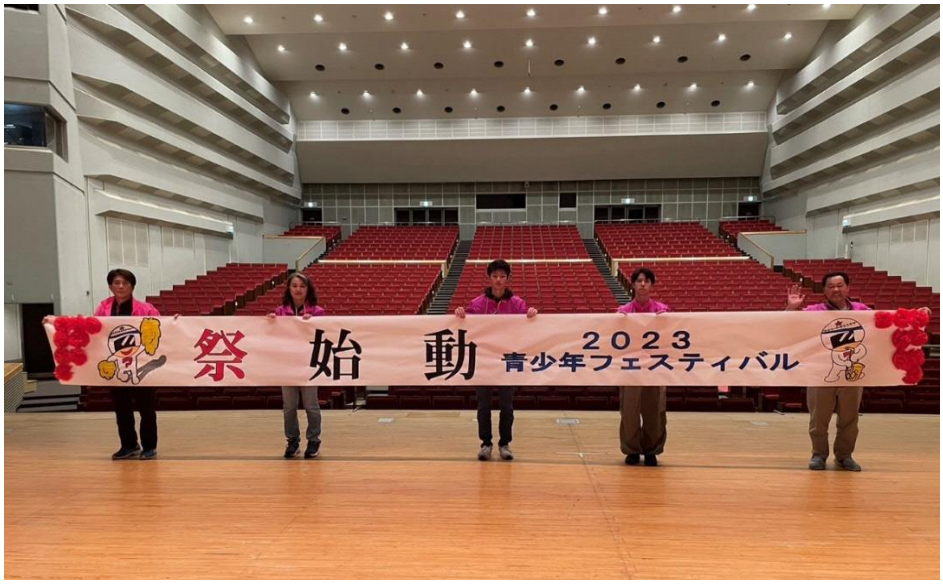
【大ホール企画】

久しぶりの青少年フェスティバル。大ホール企画も担当の半数以上が初心者ということで、皆が不安を抱えてのスタートでした。しかし終わってみれば実行委員の感想からも分かるように大ホール企画は成功だったのではないでしょうか。

＜実行委員感想＞

●子供たちが楽しそうにダンスしている姿や、客席にいる人のわくわくしている表情を見たとき、実行委員としてのやりがいを実感しました。各団体の代表者の方や、裏方のスタッフの皆さんとの協力が青少年フェスティバルの復興に繋がったと感じました。とても楽しかったです、ありがとうございました。

●自分は実行委員自体が初体験でした。また、とても久しぶりの開催であり例年通りにはできない状況でした。未経験者の自分がこの大変なタイミングで役に立てると思えず、申し訳ない気持ちでいましたが、多くのお客さんで席が埋まっているのを見た時、自分は何とかやり切ったと自信を持つことができました。



【レク企画】

レク企画は、公民館内1階から3階までの各教室での催し物を企画、運営しています。2023年度は縮小開催でしたので、講師の先生方に依頼する様々な体験教室は休止して、実行委員の発案した企画を運営しました。

実施した企画は【公民館のレクをあそびつくせ！】をスローガンに、恒例の人気企画『おばけ屋敷』、初めての企画『フォトスポット』、楽しく遊べる『バルーンアート』『輪投げ』『的当て』、会場を巡って実行委員作成の問題を解く『謎解き』、都立拝島高校作成のプロジェクションマッピングを上映の『映像鑑賞』です。どの企画も実行委員が中心になりボランティアの方々と準備、開催しました、おばけ作りやゲームのアイテム、全部手作りです。準備は試行錯誤、あれやこれやと楽しんで行っています。本番当日も、私たちのワクワク感をそのまま来場者の方に伝えられ、楽しい一日を過ごしていただけたと思います、たくさんの来場ありがとうございました。

【空色企画】

4年ぶりの青少年フェス　コロナ前も若い青少年の実行委員は少なく、どの企画もいっぱいいっぱいで実施していました。

再開できるのか？　4年も経つと以前の実行委員もほぼ引退しています。内容を知っているスタッフも少なく、本当に再開できるのか不安しかないスタート。

絶望しかない　青少年の実行委員を募るも数は少なく且つ、企画の振り分けで、空色の新スタッフは、大学生1名。1名では絶望しかない。

やるしかない　しかしやるしかない。

消極的な青少年委員　空色の企画も飲食が伴うこともあり、また予算の関係から以前と同じようにはできないという前提のもと、若い世代の案を取り入れることを考えました。
我々青少年委員は、どちらかというと消極的で、飲食なしでの実施を考えていました。

若いパワー　しかし若い唯一の実行委員から「できればやりたい」という意向もあり、「その若い希望を無にしてはいけない。どうにかしてやろう」という結論に。

飲食ブース縮小　「電気無し」、「ごみは各校で管理」、「汁物禁止」などレギュレーションを付け参加校を募集（地区委員の方、ごめんなさい。企画側には、参加校を絞りたいという思惑もありました）。

７校が参加　コロナ前は13校でしたが条件を呑んで頂ける小学校が７校。久しぶりの再開としては理想的な規模でした。

エリア縮小　小学校ブースも半減したことで中庭のエリアに空きができ、そこに東側道路団体を入れることができました。東側道路は、今までも安全上、問題があったので解決。

悔しい思いも　参加募集の時にレギュレーションを提示したのにも関わらず、説明会で、ごみの件でもめました。罵声を浴び去られ企画側としては悔しい思いも。

皆協力的でした　しかし当日は、各団体の皆様が協力的で、ごみの運用も問題なく行えました。また当日は、以前からの実行委員もスタッフとして動いてくれました。

次回に光明　各団体には行き届かなかったところも多く迷惑をかけましたが、来年も前向きにできそうな感じです。

感謝しかないわ　運営に携わって下さいました方々へ、感謝申し上げます。

中学生リーダー・リーダーズクラブ

会員募集!!

中学生リーダーの活動は、定例会6回、夏のキャンプに備え事前実習、青少年フェスティバルのお手伝い、クリスマス会などを行いました。話し合いを重ねて夏キャンプのスケジュール、メニュー決め、クリスマス会でのレクレーションなどなど各担当を決めて楽しく実行することができました。
普段ではできない体験をリーダーの活動を通してできることもっとたくさんの人に参加して欲しいと思いました。

クリスマス会